



令和4年度

日出小だより第4号

R4. 9. 27 発行責任者 校長 浅野邦広

第1回学力向上会議

8月23日に、第3回学校運営協議会の中で開催しました。4月に実施された5年生の大分県学力定着状況調査や6年生の全国学力・学習状況調査、各学年の単元テストの分析を基に、本校の学力向上プランや、学校、家庭、地域の連携について意見交換しました。

<5年生・大分県学力定着状況調査>

5年生を対象に国語、算数、理科の学力調査が実施されました。県平均と比較すると、国語は知識・活用ともに大きく上回っています。算数は知識・活用ともにほぼ同じです。理科は知識は上回り、活用はほぼ同じです。それらの結果を分析して、以下の項目を重点課題とし、取組を進めています。



<算数教科担任の授業>

○国語

- ・漢字の復習を定期的に行い、習った漢字を使うように意識させる。
- ・家庭学習で読書、言葉の学習等を取り入れ、文の構成をとらえる力を伸ばす。
- ・立場や根拠を明確にして、話したり聞いたりする活動の時間を十分に保障する。

○算数

- ・家庭学習で繰り返し練習していく。定着状況を把握し、個別指導を行う。
- ・「量と測定」の内容は、学習する際に身の回りの物を例に出し、意識させていく。
- ・ペア・グループで意見を出し合う場を設け、資料の読み方、見方、説明力を養う。

○理科

- ・単元末での復習や週末のプリント学習等で、これまで学んだ学習内容を復習する。
- ・予想・仮説→観察・実験→結果・検証→考察の授業のプロセスを大切にする。

<6年生・全国学力・学習状況調査>

調査は、国語・算数・理科の3教科です。本校は、3教科すべてで全国・大分県の平均正答率を上回りました。領域別に細かく見ると、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」と、算数の「変化と関係」のみ全国平均を少し下回っていますので、具体的な対策を考えて取り組んでいるところです。昨年度5年時の大分県学力定着状況調査では、国語で県平均を上回るものの、算数はほぼ県平均で、理科は県平均を下回る結果であったことから、今回の結果は、対策の成果や教科担任制の効果が見られたと考えています。すでに個票を配布していますので、家庭で内容を確認して今後の学習に活かしてもらいたいと思います。

学校では今後も、学力調査や単元テスト等の分析結果による取組や、授業改善として「友だちとつながり、協働して学び合う授業づくり」に重点を置き取り組んでいきます。また、本校の重点目標の1つである「課題解決のための、言葉を通じて伝える力の育成」のため、家庭では授業を充実させる準備として「学習習慣の定着」が重要と考えています。4月に配布した「日出小学びの手立て」を確認していただき、児童への声掛けをお願いします。

学校公開(9/21)へのご参加ありがとうございました

全校で7割近くのご家族の方に参観していただきました。アンケート結果を全職員で共有し、今後の取組の参考にしていきたいと思っております。また、11月4日(金)の5時間目に学校公開と、その放課後に本校で初めての「災害時引き渡し訓練」を実施しますので、多くの方のご参加をお願いいたします。